

古河歴史見聞録

願をかけるなら闇夜に牛を越えて行け

（丑の刻参りを成就するために）

闇夜に牛

「暗がりに牛」なんて言葉があるようです。闇夜に牛がいても気付きづらいということから、物の区別がはっきりしないたえである。そんな暗がりに牛がいるという話から。

昔、石町(中央町一・二丁目辺り)に住んでいた幼子が死に至りそうになった。あまり治りがよくないというので、その子のおばあさんは田町の福寿稲荷神社(中央町一丁目)に願をかけた。21日もの間、丑の刻(1時〜3時ごろ)となると毎晩お参りに出かけたが、その最後にあたる日、神社の石段の前まで来ると、見たことのない大きな牛が寝ている。恐怖心で迷いが生じたが、おばあさ



▲福寿稲荷神社の石段(昭和初期)

んは勇気を振り絞り、裸足になってその牛を乗り越えた。すると、牛は消えて孫の病も治ったという。その牛はお稲荷さんの化身であったのだと。

丑の刻参り

丑の刻に祈願することお参りは一般的に「丑の刻参り」といいます。「草木も眠る丑三つ時」といわれる闇深いこの時間帯に、期間を定めて神仏に毎晩お参りすると効果があるとされてきたものです。

このときに釘を御神木に打ち込むこともあり、それを「祈り釘」と呼んで、しばしばわら人形がこれに用いられることもありました。そういえば10年ほど前に知人から、祈り釘に使われたワラ人形の目撃談を伺ったことがあります。これは、呪いを込めたものようです。

一方でさきの福寿稲荷の丑の刻参り、人を呪うものではなく、孫の病気の平癒祈願であったことはいうまでもありません。しかしながら、祈願の内容は別にしても、願かけの最終日、巨大な牛がその行く手を阻

む。それを乗り越え大願成就するという類の話は、全国各地に伝えられています。また、それが当たり前かのように、江戸時代には、丑の刻参りの絵に牛が描かれていることもあります。

神霊の時間

それでは、なにゆえこんな時刻にお参りに行くのでしょうか。一般的に、丑の刻参りは、他人に見られると効果が失われるといい、人知れず行うものとされています。こっそりやるぐらいだったら、なにも丑の刻



▲かつて古河名所のひとつとして数えられた福寿稲荷神社(昭和初期)

にこだわることはないでしょう。

江戸時代の大衆小説を見ていると、化け物が主要人物(?)となるものがあります。彼らの活動する時間帯は、丑三つ時であることが多く、草木も人も眠りについているそのさなかであると。私たち人間が主に活動する昼間にあるのですが、この深い闇の訪れる丑の刻は、化け物や神霊たちの活動する異界の時間帯と言えそうです。そうした神霊のパワーがより発せられる丑三つ時は、より祈願の効果があつたのでしょうか。

そして丑の刻の闇夜に現れた大きな牛を乗り越えるのは、試練であると同時に、神霊と人間の時間的な境界をまたぐためのまじないであったのでしょうか。

それにしても数年前、私の肩を襲った五十肩の痛み。もしかしたら、誰かが呪って釘でも打っていたのでしょうか。いやいや、私の場合「糠に釘」で、いくら打ったところでそんな効果もありやしません。

古河歴史博物館学芸員 立石尚之

【一般書/スポーツ】

大坂なおみ
世界No.1に導いた77の言葉
児玉光雄 著
「チーム大坂」は強くなるためにどのような指導法を行ったか。その中で大坂選手はいかにして成長していったのか。キーになる77の発言を、スポーツ心理学で徹底分析する。短期間で成果を残す思考法が満載。
出版社…楓書店

【一般書/小説】
進撃の巨人
諫山創 原作
巨人との闘いの最前線、トロスト区駐屯兵团へと入団した貴族の娘ロザリー。やがて彼女の前に、超大型巨人が姿を現し…。コミックス『進撃の巨人』を原作にしたアメリカの小説を翻訳、改稿・再編したオリジナル小説。
出版社…講談社

図書館の本棚から

ああきくなるの
いちご

大坂なおみ
77の言葉

おれんち
動物病院

進撃の巨人

古河図書館

【絵本】

オレ、おおきくなるのいや
デヴ・ペティ 作
カエルが大きくなりたくないと言いだした。足は伸ばせないし、頭もつかえちゃうし、かくれんぼだって負けちゃう。でもホントはちがう理由があつて…。生意気かわいカエルの物語。読み聞かせが楽しいユーモア絵本。
出版社…マクロマガジン社

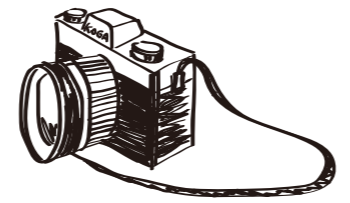
【児童書/文学】
おれんち、動物病院
山口理 作
おれは動物ぎらいの小学5年生の勇希。だけど、父さんは獣医なんだ。ある日、父さんが動物病院を開くことになった。冗談じゃない！ 動物臭い家で暮らすなんていやだよ！ だけど、動物たちと触れ合う中で、おれは次第に心を開いていき…。
出版社…文研出版

1933 昭和8年頃



提供：鈴木路雄氏

古河 今昔物語 Time Travel Photograph



2019 令和元年



昭和8年に竣工した古河警察署。そのモダンな外観から、まちのシンボルとして親しまれていました。
現在は当時の面影はありませんが、古河のシンボルともいえる高層マンションが奥に見えます。